



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

2022.6.20 spring

新潟の土地改良

新潟県土地改良

事業団体連合会

Vol.615

令和4年度 第1号

Contents

会長 新年度のご挨拶	1	世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto	6
第64回 通常総会／第62回 土地改良功労者表彰	2	新潟県ため池サポートセンター設立総会	7
各種表彰受賞者の紹介／農業農村整備に関する意見交換会(国予算キャラバン)	3	令和4年度 新職員のご紹介／	
令和3年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会	4	令和3年度 退職者のご紹介	8
令和3年度 土地改良区(連合)理事監事合同研修会／		新潟県土地改良事業団体連合会 事務機構図	9
世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会設立総会	5	連合会日誌／表紙写真紹介	10

新年度のご挨拶

会 長 三 富 佳 一



会員ならびに関係機関の皆様には、平素より本県農業農村整備の推進に対するご活躍に厚く御礼申し上げます。

本県では、山間地の積雪が多かった冬でしたので、雪解けに伴う土砂崩れが心配される春となりましたが、幸いに大きな災害につながることは無く、多少の遅れはあるものの田植えのシーズンを迎えました。

また、世界的な問題である蔓延した新型コロナウイルス感染症により、感染対策を継続し、ウイズコロナの生活を余儀なくされており、収束にはまだまだ困難な道が予想されます。農山漁村に対する影響もでており、農業農村の持続・発展を危惧しております。

さて、農業農村整備事業の令和4年度当初予算は4,453億円、防災・減災・国土強靱化のための5ヵ年加速化対策、TPP対策及び米の臨時特別対策の令和3年度補正予算1,832億円を含み、総額6,285億円を確保できました。

本県は、ほ場整備のニーズが大幅な増加傾向にあり、ほ場整備を着実に推進し、農地集積・集約化と担い手の確保を促進していくと同時に、より効果が発揮できる事業展開を支援することが重要であります。加えて膨大な農業水利施設を抱えていることから土地改良施設の機能を適切に維持・保全していくことは重要課題であり、国土強靱化のためにも防災・減災に対する配慮が必要不可欠であります。

本県では、令和4年3月に、新潟県ため池サポートセンターが設置されました。県内の農業用ため池の個所数は2,700を超え、うち決壊した場合、住民へ影響を及ぼすと想定される数はおよそ650ヵ所になります。農業を支えるだけでなく、地域住民等への安全を守る大切な役割もあることから、体制整備を進め、新潟県農地部と連携し健全な地域農業を支援してまいります。

このような中で本会として、ストックマネジメントに関する調査・診断から設計まで幅広い技術力を発揮するとともに、農地や施設などの情報を一元的に管理し多様な利活用を図るなど、一層の機能の強化を進め、もって本県農業の更なる発展に貢献してまいりたいと考えております。

併せて、会員土地改良区の複式簿記導入の初年度となり、導入後の疑問・質問等も増えることも予想されます。女性役員の登用といった組織運営面の支援もさらに取り組むべきと考えており、今後とも会員の多様なニーズと負託に応えるため、役職員とともに努力してまいります。

結びに、皆様のご多幸とご活躍を祈念いたしますとともに、豊穡の秋を迎えられますようお祈り申し上げます。

第64回 通常総会

去る3月16日に、県土連ビル(新潟市)において、
 本会第64回通常総会を開催しました。

開会に当たり三富会長より、「本県は、ほ場整備の
 ニーズが急増する中で、膨大な農業水利施設を抱え
 ており、国土強靱化のため、施設の機能を適切に維持・
 保全していくことは重要課題であり、防災・減災に
 対する配慮は必要不可欠であります。農業農村整備
 事業を推進し、農地集積・集約化と担い手の確保を
 促進していくと同時に、より効果が発揮できる事業

展開から、一層の農村振興の発展を進めることが
 重要であります。当連合会としましては、今後も国、
 県と連携を強化しながら会員のニーズと負託に応え
 るべく役職員とともに努力してまいりますので、
 ご理解とご協力をお願い申し上げます」と挨拶があり
 ました。

議事は、小池重一氏(小千谷西南土地改良区理
 事長)が議長に選任され進行し、上程された9議案に
 ついて全会一致で承認可決されました。



〈三富会長の挨拶〉



〈議長 小池重一 氏〉

第62回 土地改良功労者表彰

役員表彰

所属団体名	氏 名
阿賀野川土地改良区	中 山 一 巳
新潟北土地改良区	金 子 精 一
新潟北土地改良区	山 田 進
新潟北土地改良区	本 間 松
十全土地改良区	鶴 巻 洋 一
信濃川下流土地改良区連合	塩 野 勇
信濃川下流土地改良区連合	塩 野 興 一
福島江土地改良区	恩 田 績
本与板土地改良区	山 崎 新 作
柏崎土地改良区	安 達 正 昭
柏崎土地改良区	若 井 洋 一
坊ヶ池土地改良区	古 澤 登

職員表彰

所属団体名	氏 名	所属団体名	氏 名
荒川沿岸土地改良区	渋谷 忠 人	西蒲原土地改良区	玉 木 尚 弘
豊浦郷土地改良区	細 野 卓 弥	西蒲原土地改良区	旭 忠 大
阿賀野川土地改良区	若 杉 智 子	西蒲原土地改良区	太 田 孝 博
阿賀野川土地改良区	瀧 澤 茂 喜	西蒲原土地改良区	齋 藤 美 智 子
加治郷土地改良区	渡 邊 孝	大和郷土地改良区	岡 村 良 和
加治郷土地改良区	三 浦 麻 生	関川水系土地改良区	松 井 隆 史
加治郷土地改良区	三 浦 政 昭	和田土地改良区	中 島 み ち よ
阿賀用水右岸土地改良区連合	安 中 正 行	新潟県土地改良事業団体連合会	高 橋 義 一
亀田郷土地改良区	中 村 雅 敏	新潟県土地改良事業団体連合会	井 関 陽 介
白根郷土地改良区	田 中 和 幸	新潟県土地改良事業団体連合会	松 木 準 緒
白根郷土地改良区	長 谷 川 淳 一	新潟県土地改良事業団体連合会	矢 野 貴 男
白根郷土地改良区	高 山 和 彦	新潟県土地改良事業団体連合会	星 野 洋 一
西蒲原土地改良区	川 見 真 人	新潟県土地改良事業団体連合会	青 山 大 介

受賞された1団体及び役員の部12名、職員の部
 26名には、これまでのご活躍に対し敬意を表すると
 もに、今後とも益々のご活躍を祈念申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の
 ため、表彰式を中止とし、受賞者には後日表彰状を
 贈呈いたしました。

各種表彰受賞者の紹介

第63回 全国土地改良功労者等表彰

全土連会長賞

団体

せんみがわ

仙見川土地改良区

個人

とがわ

外川

うちだ

内田

きちらく

吉楽

ひさお

久雄

しょうじ

昇司

てるこ

照子

せきはら

関原土地改良区

理事長

ごじょう

五城土地改良区

元事務長

なかさと

中里土地改良区

事務長

令和3年度 農業農村整備優良地区コンクール

農村振興局長賞

農村振興部門

ぶなやま

舟山地区基盤整備推進協議会

中山間地域等振興部門

たなひろ

農事組合法人 棚広生産組合

この度の栄ある受賞、誠にありがとうございます。

東京都での表彰式は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりましたが、その代わりとして、去る4月14日、県土連ビル(新潟市)において、全国土地改良事業功労者等表彰伝達式を開催し、受賞者には、農林水産省農村振興局水資源課の緒方課長ならびに本会の三富会長から表彰状が手渡されました。



(前列の右から)

農林水産省 緒方水資源課長

仙見川土地改良区 瀧澤理事長

農事組合法人 棚広生産組合 羽深氏

舟山地区基盤整備推進協議会 森山氏

新潟県 登り農地部長

新潟県土地改良事業団体連合会 三富会長

当日欠席された受賞者の方々には、後日表彰状を贈呈いたしました。

農業農村整備に関する意見交換会(予算キャラバン)

去る4月13日～14日の2日間、13日は関川水系土地改良区(上越市)、14日は県土連ビル(新潟市)において、農業農村整備に関する意見交換会(国予算キャラバン)が開催されました。

この会には、農業農村整備を巡る地域の課題・要望等についての意見交換のため、農林水産省、新潟県農地部、市町村、土地改良区など2日間で延べ90人が出席しました。

両会場とも、新潟県農地部の登り農地部長挨拶で開会し、農林水産省農村振興局水資源課の緒方課長から令和4年度農業農村整備予算に関する説明の後、農林水産省と市町村および土地改良区との意見交換が行われました。

意見交換では、2日間で約40もの地域の課題・要望等についての意見交換がなされるなど、地域の声を届けることができた実りある会となりました。



<上越会場>



<新潟会場>

令和3年度 換地計画作成及び換地処分実務研修会

去る2月24日～25日の2日間、県土連ビル（新潟市）において、換地に関する事務を担当する土地改良区や本会職員等を対象とした令和3年度換地計画作成及び換地処分実務研修会を開催しました。

この研修会には、換地に関する事務の理解促進を目的として、約50名が会場およびオンラインにて参加しました。

本会の坪谷専務理事の開会挨拶の後、土地改良法の概要や換地計画書作成実務など、2日間で11の講義を設けて行いました。

参加した本会の換地部職員からは「2日間で内容も濃く、幅広い学習ができた。今後の業務に生かしたい。」といった感想が聞かれ、充実した研修会となりました。



＜研修会の様子＞

研修会日程

4月24日		
内 容	説 明 者	
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会	専務理事 坪谷 満久
土地改良法の概要	新潟県農地部農地計画課土地改良団体係	主 任 富永 拓生
(講義内容)・土地改良法の構成や法改正の経緯について ・フロー図を用いた土地改良事業の流れや土地改良事業の計画変更など土地改良事業の実施に係る説明		
表示に関する登記について	新潟県地方務局不動産登記部門	登記官 保坂 貴光
(講義内容)・対抗力、推定力、形式的確定力といった不動産登記制度についての説明 ・不動産登記の構成する表示に関する登記、権利に関する登記についての説明		
換地理論	北陸農政局農村振興部土地改良管理課	課 長 松本 公一
(講義内容)・区域区分の原則といった換地の三原則や対応換地といった換地手法の仕組み ・基礎調査・地域営農調査から清算金の徴収・支払いまでの換地業務の流れと各工程の業務紹介		
換地をめぐる情勢について	全国土地改良事業団体連合会中央換地センター	所 長 松尾 房雄
(講義内容)・民法等の改正に伴う新たな財産管理制度等の活用推進についての説明 ・農地中間管理機構関連農地整備事業に関する換地業務検討についての説明		

4月25日		
内 容	説 明 者	
農地中間管理事業について	新潟県農林公社農地中間管理事業課	主 任 石崎 和之
(講義内容)・農地中間管理事業の活用のメリットや県内での事例等について紹介した事業概要の説明 ・新潟県の農地中間管理事業の推進に関する考え方や担い手への農地集積率の目標等を示した基本指針の説明		
換地計画書審査のポイント	新潟県農地部農地整備課農地集団化係	専門員 坂井 範彦
(講義内容)・換地設計書、各筆換地等明細書など換地計画書の構成についての説明 ・換地計画書の様式を用いた審査ポイントの説明		
換地関係異議紛争の現状と課題について	新潟県農地部農地整備課農地集団化係	係 長 佐藤 祐一
(講義内容)・県営事業の換地業務に関する異議等手続や県が定める異議等手続に関する規程等の制度の概要 ・過去の県営土地改良事業における異議紛争事案の発生件数や原因、未然防止や対応方法等の説明		
換地計画書作成実務	新潟県土地改良事業団体連合会換地部換地第1課	課 長 高橋 皆平
(講義内容)・過去の換地士試験問題を用いた換地設計書や各筆換地等明細書、換地清算金の算出や添付書類等、換地計画書作成に関する説明		
換地設計・土地評価について	新潟県土地改良事業団体連合会換地部換地第3課	課 長 小川 正浩
(講義内容)・換地処分を行うための基本方針である換地設計基準の構成や基準作成のための基礎調査等の説明 ・土地評価に関する増減点方式や条件差差積方式等の算出方法等の説明		
代位登記について	新潟県土地改良事業団体連合会換地部	指導監 鈴木 博之
(講義内容)・土地改良換地における代位登記の法的根拠である土地改良法第114条及び土地改良登記令第2条の規定の説明 ・事業施行区域以外の土地の登記や担保権等の抹消登記等の代位登記ができない登記の説明		
交換分合について	新潟県土地改良事業団体連合会換地部	総括監 監物 淳二
(講義内容)・交換分合のメリットや交換分合計画の定め方といった交換分合制度に関する説明 ・年度によって変動はあるものの交換分合面積は減少傾向にあるといった交換分合を巡る情勢		

令和3年度土地改良区(連合)理事監事合同研修会

去る3月3日、県土連ビル(新潟市)において、県内の土地改良区(連合)の理事ならびに監事を対象とした令和3年度土地改良区(連合)理事監事合同研修会を開催しました。

この研修会には、土地改良区の運営を円滑にするため、理事ならびに監事の役割や職務への理解増進を目的として、約150名が会場およびオンラインにて参加しました。

本会の坪谷専務理事の挨拶で開会し、北陸農政局

土地改良管理課の松本課長ならびに新潟県農地部農地計画課の圓山土地改良団体係長から土地改良区の現状や組織運営について説明をいただきました。

研修会終了後に回収した質問表には、土地改良法の一部を改正する法律案や女性理事の登用に関する質問が複数寄せられるなど、組織運営の円滑化や組織体制の強化に向け積極的な姿勢がみられ、充実した研修会となりました。

研修日程

内 容	説 明 者
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 専務理事 坪谷 満久
「土地改良区を巡る情勢等について」 ～新たな土地改良長期計画と土地改良区の運営～	農林水産省北陸農政局土地改良管理課 課 長 松本 公一
(講義内容)・土地改良区の運営に必要な業務を執行するための意思決定や土地改良区の財産状況の監査など理事や監事の職務についての説明 ・組合員の高齢化による離農や土地持ち非農家の増加等を背景とした、農地中間管理機構関連事業の拡充や土地改良区の組織変更制度の創設など土地改良法の一部を改正する法律案の概要	
「土地改良区の組織運営について」	新潟県農地部農地計画課土地改良団体係 係 長 圓山 亮
(講義内容)・女性理事候補の人材発掘、意識醸成といった女性理事の登用推進についての説明 ・職員へのハラスメント行為や同和問題への理解不足によるトラブルなど土地改良区(連合)における人権への配慮について	

世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会設立総会

去る4月11日、熊本城ホール(熊本市)において、世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会設立総会が開催されました。

この協議会は、各都道府県、市町村、土地改良区等の会員で構成され、世界かんがい施設遺産登録地区関係者や支援団体等が行う農村活性化への取組みの支援を目的に設立されるもので、総会には、関係者約200名が会場およびオンラインにて出席しました。

農林水産省農村振興局の安部局次長の開会挨拶の後、議案の承認、地域づくりに関係する業務に強みを持つ株式会社RPIの岩崎氏によるセミナーが行われました。

セミナーの中での意見交換では、地域づくりの具体的な取組み例として栃木県的那須野が原土地改良区

連合の星野氏が「水源林を守る活動を行うNPO法人の活用について」紹介があるなど、会員間の情報共有がしっかりとなされた有意義な設立総会となりました。



<会場の様子>

研修日程

内 容	説 明 者
開会挨拶	農林水産省農村振興局 次 長 安部 伸治
議 事	農林水産省設計課海外土地改良技術室
(内容)・第1号議案「世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会の規約について」 ・第2号議案「世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会の役員等について」 ・第3号議案「世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会の活動計画について」	
外部講師によるセミナー (タイトル: 100年先の地域の未来をつくる一保全と活用、連携と共創)	株式会社 RPI 岩崎 尚子
(内容)・かんがい施設の保全・利活用を適切に行っていくための仲間・サポーターの獲得 ・仲間・サポーター獲得のための課題解決ツアーやふるさと納税、サブスクリプション等の具体的な取組みの紹介	
連絡事項	農林水産省設計課海外土地改良技術室
(内容)・世界かんがい施設遺産のロゴ、カードの活用について ・情報発信事業について	

世界かんがい施設遺産サミットin Kumamoto

去る4月11日～12日の2日間、熊本県内において、かんがい施設の持続的な保全・活用を進めていくための機運の醸成の向上を目的とした世界かんがい施設

遺産サミットin Kumamotoが開催され、本会からも職員が参加しました。

サミット次第

4月11日	
内 容	説 明 者
開会挨拶	熊本県 副知事 木村 敬
	熊本県 市 長 大西 一史
来賓挨拶	農林水産省農村振興局 次 長 安部 伸治
	全国土地改良事業団体連合会 企画研究部長 岡本 裕也
基調講演 (演題：世界かんがい施設遺産の意義および保続に向けて)	一般社団法人農業土木事業協会 会 長 佐藤 洋平
パネルディスカッション (テーマ：世界かんがい施設遺産の保全と利活用～熊本から考える)	コーディネーター2名、パネリスト6名

4月12日	
内 容	説 明 者
流域別現地検討会 ・ 菊池のかんがい用水群 ・ 白川流域かんがい用水群 ・ 通潤用水 ・ 幸野溝・百太郎溝水路群	各かんがい施設の関係者

11日は、熊本城ホール2階シビックホールにおいて、基調講演およびパネルディスカッションが行われ、会場には、各都道府県、市町村、土地改良区など関係者約200名が会場およびオンラインにて参加しました。

基調講演では、佐藤会長からかんがい施設の保続

について、農村空間全体をサービス産業化する発想や第三者からの支援の必要性が語られたほか、パネルディスカッションでは、「世界かんがい施設遺産の保全と利活用～熊本から考える」をテーマに大学准教授や地方創生アドバイザーなどそれぞれの立場から多くの意見が交わされました。



＜（一社）農業土木事業協会 佐藤会長＞



＜パネルディスカッションの様子＞

12日は、熊本県内にある4つの世界かんがい施設遺産を流域別に分け、それぞれ関係するかんがい施設を見学する流域別現地検討会が行われました。

当会は、通潤用水に関する円形分水や世界かんがい施設遺産である通潤橋等を見学するコースに参加し、各かんがい施設において、管理主体である

市や土地改良区の職員から施設に関する歴史や役割の説明を受けながら見学をしました。

通潤橋で定期的に行われる余水吐き（放水）では、その豪快さに驚きの声があがるなど、観光資源としても価値のあるかんがい施設を直に体験することのできた有意義なサミットとなりました。



＜小笹円形分水＞

熊本県の中部を流れる一級河川の緑川より取得した水を、受益面積割により公平に、通潤橋（通潤用水）等へ分配する機能をもった分水工。



＜通潤橋（余水吐き時）＞

低地の河川に囲まれた白糸台地をかんがいするために建設された日本最大の石造アーチ水路橋。世界かんがい施設遺産のほか国の重要文化財にも指定されている。

新潟県ため池サポートセンター設立総会

去る3月29日、県土連ビル（新潟市）において、新潟県ため池サポートセンター設立総会が開催されました。

新潟県ため池サポートセンターは、新潟県、市町村、本会で構成され、ため池の保全管理体制の強化を目的に設立されるもので、総会には、構成員や県内の新聞記者など約70名が会場およびオンラインにて出席しました。

新潟県農地部農地建設課の荒川課長の挨拶で開会した後、同防災係の服部副参事よりサポートセンターの設立趣旨や設置規約等の議案について説明が行われ、上程された3議案について全会一致で承認可決されました。



< 設立総会の様子 >

総会次第

内 容	説 明 者
開会挨拶	新潟県農地部農地建設課 課 長 荒川 浩
新潟県ため池サポートセンターの設立趣旨書	新潟県農地部農地建設課防災係 副参事 服部 博晃
(内容)・近年、全国的に自然災害が激甚化・頻発化する中、ため池の決壊により、人家、公共用施設及び農地に被害が発生していることから、防災工事等の円滑かつ適切な実施と災害発生の未然防止のため、県・市町村・県土連の連携を強化し、ため池の保全管理体制の強化を目的に新潟県ため池サポートセンターを設立する。	
議 事	新潟県農地部農地建設課防災係 副参事 服部 博晃
(内容)・第1号議案 新潟県ため池サポートセンターの設立について ・第2号議案 新潟県ため池サポートセンターの設置規約 ・第3号議案 副センター長の選任について	

ため池サポートセンターの事業内容及び役割分担

内 容		役割分担			
		県		市町村	県土連
		農地建設課	地域振興局		
事業	(1)ため池に関係する施策や課題等の会員間における情報共有に関すること	○	○	○	○
	(2)ため池の保全管理等に関する普及啓発に関すること	○			
	(3)ため池の保全管理等に関する管理者等からの相談対応に関すること		○	○	○
	(4)ため池の安全を確保するための現地調査等に関すること				
	(5)ため池の保全管理等に関する管理者等への助言及び技術指導に関すること				
ため池管理者からの相談窓口				○	
事務局		○			○

本会事務局に対するため池の保全管理等についてのご相談は、技術部までお問合せください。

技術部 TEL:025-286-1192



登り部長(左から2番目) 三富会長(左から3番目)

事務局設置看板の掲出式

設立総会終了後、事務局に設置される看板の掲出式が行われ、新潟県農地部の登り部長、同農地建設課の荒川課長、上越市農林水産整備部の笠松課長、本会の三富会長が参加し、看板が掲げられました。

今回の総会及び掲出式は、県内の新聞社の記事に掲載されるなど新潟県ため池サポートセンターの役割や事業内容が県全体に広く周知されました。

令和4年度新職員のご紹介

FRESHERS

今年度、本会では3名の新職員が加わりましたのでご紹介させていただきます。
是非、顔と名前を憶えていただけるよう、新職員に、意気込みなどを伺いましたので、ご紹介させていただきます。



管理部 施設管理課

古俣 琉聖

RYUSEI KOMATA

一言

様々なことに挑戦します。

4月から技術部施設管理課に配属されました、古俣です。3月に県立新潟工業高校電気科を卒業しました。これから様々なことに挑戦し、多くのことを学び、社会人として成長して行きたいと思います。

1日でも早く皆様の力になれるよう頑張っていきますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

本年度から設計第1課に配属されました、土田と申します。

3月に新潟大学農学部を卒業いたしました。より一層の知識を身につけるために日々の仕事に熱意をもって励みたいと思います。また仕事以外でも交流をさせていただければ幸いです。

至らぬ点も多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

技術部 設計第1課

土田 睦

MUTSUMI TSUCHIDA

一言

日々の挑戦によって得た経験から学び、成長します。



技術部 換地第2課

遠藤 祐哉

YUYA ENDO

一言

公私を問わず何事にも一生懸命取り組みます。

本年度から換地部第2課に配属となりました、遠藤佑哉と申します。

3月に神奈川大学法学部を卒業しました。

農業や土地改良に関する知識はほとんどありませんが、早く土地改良換地士の資格を取得して皆様のお役に立てるように頑張ります。

また、私自身趣味で釣りをやっていますので仕事以外の部分でも交流させていただければ幸いです。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

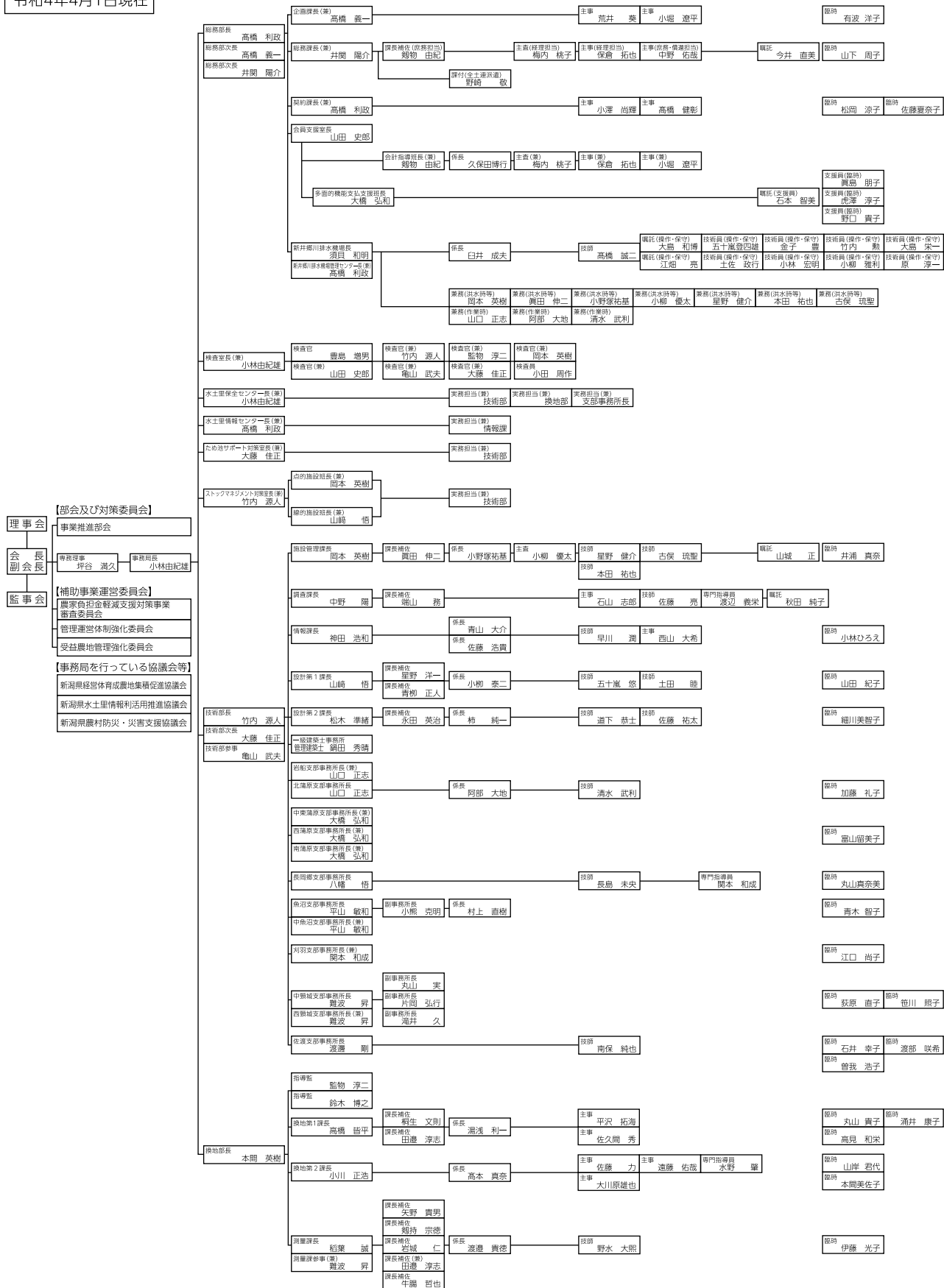
令和3年度退職者のご紹介

令和3年度末をもって、本会では6名の職員が退職をしました。
長きにわたり大変お疲れ様でした。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
事務局長	熊田 悦男	新郷川排水機場長	玉置 正英
総務部参事	熊谷 徹	魚沼支部 事務所長	若井 隆
総務部会員支援室 多面的機能支払支援班長	高橋 孝明	換地部換地第2課 係長	佐藤 寿之

新潟県土地改良事業団体連合会 事務機構図

令和4年4月1日現在

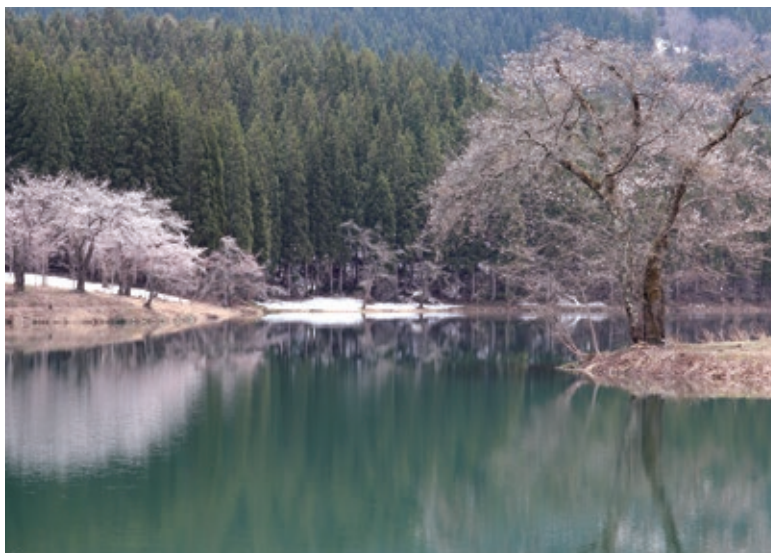


- ・管理部を廃止し、契約管理課を総務部内の契約課として新設したほか、施設管理課を技術部に編入しました。
- ・受託業務成果品の検査を行う検査室を新設しました。
- ・ため池の現地調査や管理者等からの相談対応を行うため池サポートセンターを新設しました。
- ・換地第3課を廃止し、換地第1課、換地第2課の2課体制としました。
- ・南浦原支所事務所が本部内に移りました。

連合会日誌

4月 11日 (月)	世界かんがい施設遺産地域活性化推進協議会設立総会	熊本県
11日(月)～12日(火)	世界かんがい施設遺産サミット in Kumamoto	熊本県
13日 (水)	農業農村整備に関する意見交換会(予算キャラバン) 上越会場	上越市
14日 (木)	農業農村整備に関する意見交換会(予算キャラバン) 新潟会場	県土連ビル
19日 (火)	都道府県土地改良事業団体連合会長・事務責任者合同会議	東京都
20日 (水)	(一社)地域環境資源センター 令和4年度 第2回理事会	東京都
21日 (木)	(一社)地域環境資源センター 令和4年度 業務実施方針等説明会	オンライン
22日 (金)	(一社)地域環境資源センター 農業集落排水施設に係る新技術普及研究会 令和4年度総会	オンライン
27日 (水)	統合整備推進研修及び財務管理強化研修担当者会議	オンライン
28日 (木)	令和4年度 北陸農政局管内農業農村整備担当課長等会議	石川県
5月 9日(月)～13日(金)	令和4年度 土地改良区体制強化事業施設管理研修(発電施設)発電維持管理研修	オンライン
11日 (水)	令和4年度 農業農村整備広報担当者会議	オンライン
19日 (木)	令和4年度 北陸農政局むらづくり審査会委員	オンライン
24日 (火)	令和4年度 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会総会	上越市
	令和4年度 北陸農政局管内土地改良課関係担当者会議	オンライン
25日 (水)	本会理事会	新潟市
27日 (金)	(一社)地域環境資源センター 令和4年度 定時総会	東京都
6月 13日(月)～14日(火)	中央要請活動	東京都
	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会中央要請活動	東京都
14日 (火)	農業農村整備の集い	東京都

表紙写真紹介



なかご

中子のため池の桜 (4月16日撮影)

中子のため池(津南町)は、中子集落の田んぼ80ヘクタールを潤すため、昭和33年に築造されたため池です。

4月には、ため池に映る桜や背景に佇む多くの杉林など、春を感じる自然豊かな風景が広がります。

また、この地区は、比較的標高の高いところに位置していることから、残雪とともに桜の開花をみることができます。

この幻想的な情景を撮影するため、多くのカメラマンが足を運ぶ有名なスポットとなっています。



未来の「水」「土」「里」を創造する

